

歴史的建造物の活用

～ 歴史的建造物を活かして、学びながら人が集まるまち ～

現状と課題

- 歴史的建造物等がたくさんあるけど、活かしてきていないのでは
- 子ども・若者の減少が大きな問題
- 若者にとって魅力的なまちにすることが課題



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物に興味がない子どもや若者を歴史的建造物に導いて、小樽を活性化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・見学ツアーなどは、興味のある人しか参加しないと思われるため、もっと広がりを持たせたい。 ○若い世代の小樽の歴史への理解を深め、後世に歴史的建造物を残す。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物で、子ども・若者が楽しめるイベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「ライブをやる」「学校祭で使う」「クリスマスイベント」「芸術家を呼んで、建物の前や中でアートイベント」「芸術教室」など ○歴史的建造物（遺跡も含め）と隠れた名所の観光MAPづくり ○地域別のおすすめコースの作成 ○歴史的建造物とあわせた「港関係施設」「鉄道関係施設」の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道記念館中心に鉄道発祥の地を学ぶイベントを開催 ○歴史的建造物を道の駅に整備
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的建造物でのイベントについて <ul style="list-style-type: none"> ・市民がボランティアでイベントの運営に参加 ・行政や企業が資金援助 ・ニトリ芸術村を核に ・旧日本郵船と、その前の運河公園も想定 ・芸術家を集め、歴史的建造物・空き家・廃校等を安く貸し、芸術の発表・販売等に利用して、芸術を売りにする。また、日常的な利用として、芸術教室を開く。 ○観光MAPなどについて <ul style="list-style-type: none"> ・MAPなどの配り方の工夫を ・メイン通り以外の紹介・PR
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	

市民全体で子育てするまちづくり

現状と課題

- 子ども・若者の減少が大きな問題で、教育や子育て環境の充実が課題
- 豊富な知識・経験を持つ元気な高齢者が多い



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達の将来のために、市民全体で子どもの健全育成をサポートする。 ○子どもの育成と、高齢者の生きがいづくりを一体で考える。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若者・子どもと高齢者の方が交流する場を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが高齢者から教わるだけでなく、逆に子供が得意なもの（パソコン、スマホ、スポーツなど）を教えて、双方向の交流をする。 ○子どもの居場所をつくる ○大人と子どものつながりを持てるイベントを行う <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ祭、職場体験など ○子どもを預けて働ける環境づくり ○科学館での科学教室や、図書館で本に親しむ取組などを、市民の協力で充実させる。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○若者・子どもと高齢者の交流 <ul style="list-style-type: none"> ・町内会を充実させ、子ども向けレクリエーション、子どもみこしなどを実施 ・町内会を充実させるには、入会のPRなどの対策が必要 ○子どもの居場所 <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育（放課後児童クラブ）のようなものを地域でつくり、市民がボランティアで運営に参加する。 ・高齢者や大学生に勉強をみてもらう ・子ども食堂の拡大（学生などのボランティアが担い手となる） ○実施場所は、市の施設（教育施設、空き教室など）も活用する
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	

高齢者が安心して暮らせる環境づくり

～ 高齢者の冬の生活支援 ～

現状と課題

- 高齢化の進行で、健康で安心・安全な暮らしへの関心が高まっている
- 冬場の除雪や、買物などの移動が大変
- 交通は便利な所も不便な所もある

それならこうしてみよう！



<p>目的・ねらい</p>	<p>○除雪や外出など、高齢者の冬の生活を支援して、住み慣れた地域で安心して住み続けられるようにするため</p>
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の一人住まいの家の除雪 ○冬に集まれる場所をつくり、健康的な食事をみんなで一緒に ○町内会などで行っている良い取組を紹介して、ほかの地域にも広める ○高齢者の健康づくり教室を開催 ○買い物や通院などの移動手段として、会員制のコミュニティバスを運行する。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○町内会が皆でお金を集めて除雪を実施 ○「集まれる場所」は、町内会館や空き家などを利用
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<p>○除雪だけでなく、歩道の整備や道路の維持補修をしっかりとって、歩きやすくすることも大事。</p>

高齢者が安心して暮らせる環境づくり

～ 子どもとお年寄りが交流する場 ～

現状と課題

- 少子高齢化が進んでおり、子育て支援の充実や、健康で安心・安全な暮らしの確保が課題
- 豊富な知識・経験を持つ元気な高齢者が多い
- 地域のつながりが希薄になってきている



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに手足を動かす遊びの楽しさを知ってもらう ○子どもが高齢者の体験や知恵を学び、高齢者は刺激を受けて元気になる ○地域のつながりを強めることで、安心して暮らせるようになる
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童クラブに高齢者が参加する <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が昔の遊び（竹とんぼ・お手玉など）を教える ○子どもと高齢者の運動会を開催 ○地域の有資格者の活躍の場を作る ○子ども・若者がパソコンやスマホを高齢者に教える
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO やボランティアと地域（町内会など）が連携して行う ○有資格者（元教員・保育士など）が、会の運営や子どもとの関わり方の指導役となる ○実施場所として、地域のコミュニティセンターを確保する
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	

市民全体で子育てするまちづくり

～ ママも子どもも集える場所をつくろう！！ ～

現状と課題

- 子ども・若者の減少が大きな問題で、教育や子育て環境の充実が課題
- 子どもが小さいときはママが家で孤立しがち
- 現状、ママたちの情報交換の場が少ない
- 保育士不足と言われているが、保育士の資格を持っている人はたくさんいる



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○孤立感の軽減や、外出しやすくすることで、楽しく子育てできるようになり、子育て世代の居住満足度を向上させる。 ○学生が子供に関わる機会を設け、子育てに前向きになる意識を醸成する。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援のための多目的に使える、託児機能付きの交流スペースを、アクセスの良い場所に開設する。 <ul style="list-style-type: none"> ・託児により、子どもを預けて買物などができるようにする。 ○交流スペースでの実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・母子で集い、情報交換できる「ママカフェ」 ・食育などのワークショップ ・子どもの学習支援 ・子供向けのイベント ○子育て支援施設が点在しているので、集約して使いやすく
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開設は市で。安心感があり、他の事業との連携もできる。 ○運営はNPOや企業等に委託する。 ○運営スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・託児は、フルタイム勤務は難しい潜在保育士が、短時間勤務で ・保育・看護を学ぶ学生には小さい子のお世話、一般の高校～大学生には食育やイベント企画など、地域の年配の方には昔遊びなどで関わってもらう。 ○平日の日中は、ママカフェを実施（週3回くらい）し、週末は主にイベントスペースとして使用 ○場所は、まずは小樽駅前のビルの空きテナントや付近の空き店舗などアクセスの良いところを開始。うまくいったらウイングベイの空きテナントでも展開。 <ul style="list-style-type: none"> ・車を運転しない人も利用しやすいよう、交通の便が重要 ○将来的に、駅前の再開発をする場合には、公共性の高い色々な機能を集約した複合ビルを建て、その中に多機能子育て支援施設も設置する。
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市との連携協定により、科学大の授業で掘り下げることが可能です！

空き家の活用

現状と課題

- 全国では約6件に1件が空き家。そのうち使える空き家は2～3割程度と言われている。
- 活用希望者が不動産業者で入手できる情報だけでは不十分と思われる。



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の流れを活発にして、空き家と活用希望者とのマッチングを促進し、地域の衰退と人口減を防ぐ。 ○空き家の放置による生活環境や景観の悪化を防ぐ。
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体で空き家と活用希望の情報収集・発信をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・活用は、企業に貸して、事業に使ってもらうのが一番有望ではないか <p><i>※民泊や市営住宅としての活用も検討したが、民泊は法が出来たばかりで動向を見定める必要があり、市営住宅は市で現在できることとして「既存借上公営住宅」を始めたところなので、ここでは掘り下げないこととした。</i></p>
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○官民一体（市・不動産業者・商工会議所・町内会など）の協議会を作り、それぞれが空き家情報や活用希望情報を集め、マッチングや、情報発信をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は、インターネットのほか、町内会回覧板、コンビニなどで細かく情報を発信する。 ・市や商工会議所では、起業を考えている人の「こういう事業をやりたいが適した施設はあるか」など、空き家活用の潜在ニーズを把握する。 ・町内会は、地域の空き家情報や、子育て世代のコミュニティスペースなどの活用希望の把握をする。 <p>○収集した物件情報によっては、市が借り上げて安く貸すことも考える。</p>
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	

企業誘致や起業家の育成

～ 起業家を育成するために ～

現状と課題

- 人口減少、特に若者の減少が大きな問題で、雇用・仕事の確保が重要課題
- 市内の学生に、小樽の産業・企業があまり知られていない



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学生時代から仕事を身近に感じることで起業等の意識を高める ○人口増による小樽の活性化のため。また、その市民意識の醸成のため
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職業体験をもっと増やす（小～高校） <ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した授業を増やす ○産・官・学が一体で、起業に関する情報を集約し、人材育成～起業～成功までを一元的に支援する組織をつくり、学生や市民のアイデアを利用できるように窓口を一本化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学の勉強・発表などで芽生えた「やってみたい」で終わらせないため ・学生のビジネスアイデア、空き家の物件情報などの情報を集約 ・資金援助の仕組みづくりも必要 ○「小樽で起業家募集」の懸賞を行い、市内・市外から起業希望者を募集し、当選者に資金などの支援をする。
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職業体験の充実について <ul style="list-style-type: none"> ・市が教育委員会に働きかけ、学校の授業として ・NPO との連携 ・大学、高校で単位とする ・受入れ企業への支援
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	

企業誘致や起業家の育成

～ 効果的な企業誘致の推進 ～

現状と課題

- 人口減少、特に若者の減少が大きな問題で、雇用・仕事の確保が重要課題
- 企業誘致は、業種などを絞り込んだ方が効果的と思われる
- AIなどIT産業は、成長分野であり、若者に比較的人気の職種
- 小樽には、地場産業のさまざまな技術の集積がある



それならこうしてみよう！

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○人口増による小樽の活性化のため。また、その市民意識の醸成のため ○若者をターゲットにした新たな小樽の地場産業を生み、今ある地場産業の蓄積された技術との互惠関係を目指す
こんなことをしてみよう (取組の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○AIなどIT産業の企業誘致 ○小樽の持っているものに関連する企業を誘致する
こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)	<ul style="list-style-type: none"> ○IT企業の誘致場所 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の集積があり、ロボットなどIT技術に取り組んでいる職業能力開発大学校との連携もできる銭函工業団地 ・市内居住促進の観点で、高島・祝津のなどの空き地や学校跡 ・街なかの空き店舗 ○市役所・商工会議所・青年会議所が連携して、情報発信や誘致活動 ○世界の企業に小樽の情報を発信するキャンペーンを行う ○民間企業と大学（能開大・商大・科学大）がタッグを組む ○交通のアクセスを良くして、操業の環境を整える
そのほかの意見・アイデア	

新しい観光の開発

現状と課題

- 観光は小樽の主要産業で、国も成長産業と位置付け、力を入れている
- 今の小樽観光は、運河・堺町通りを中心とした、限定的な観光資源しか生かされていない
- 通過型観光に留まらず、滞在型観光にしていくことが課題



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○観光を活かして小樽の活性化 ○観光客滞在時間を延ばす。リピーターを増やす
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい観光資源の開発と、既存の資源の再利用・見直し（“点”を“線”に） <ul style="list-style-type: none"> ・市内のお寺（神社）めぐり ⇒ 小樽歴史ツアー ・個人所有の石造り倉庫の保全 ・旧手宮線にトロッコ列車を走らせる ・山、海、川など自然を活かした観光振興 ・道路に、有名建築物や飲食店などに導く足跡をつける ○宿泊を促す観光の開発（夜型・朝型） <ul style="list-style-type: none"> ・運河公園など北運河周辺のライトアップやイルミネーション ・函館のような朝市 ○小樽近郊の地域とこれまで以上に連携しブランド力を向上させる
<p>こうやって 実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい観光資源の開発は、市民を集めた特命チームで ○市、商工会議所、大学、民間企業（市内・市外）などが、情報共有し、まとめて情報発信
<p>そのほかの 意見・アイデア</p>	

海や海岸など自然を活かしたまちづくり

現状と課題

- 海や山など自然環境に恵まれている
- 今のまちなみや環境が作られてきた歴史がある
- 恵まれた自然環境をまちづくりへ活用
- 今の環境を今後どうやって保っていくか



それならこうしてみよう！

<p>目的・ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の立地の活用 ○積丹半島的美を多くの人に知らせる ○四季を通して活用
<p>こんなことをしてみよう (取組の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸線の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・張碓から銭函の海岸線をPR ・ビーチウォーク ・海岸線（オタモイ）遊歩道の整備 ・写真コンテスト等を行う ○四季を通して活用 <ul style="list-style-type: none"> ・天狗山、春香山など 名水奥沢水源地 ○歴史を知る
<p>こうやって実行しよう (誰が・どこで・どのように、など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○運営 <ul style="list-style-type: none"> ・市民有志らによる実行委員会やNPO団体 ・積丹～石狩まで他のまちの市民と連携する ・整備に関することは、国、道、市で取り組む ○意識啓発等の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・市民フォーラム 講演会 セミナー シンポジウム 環境教育 (小樽の自然の素晴らしさや、環境の大切さを再認識) ○ビーチウォーク <ul style="list-style-type: none"> ・四季のゴミ拾い ・ビーチウォークのコース設定 ○環境保全、整備 <ul style="list-style-type: none"> ・奥沢水源地の保全 ・天狗山遊園地の整備 ・全国の小樽関係者にクラウドファンディング寄附を募る (小樽の自然環境保全のため)
<p>そのほかの意見・アイデア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○（海岸）観光船の運航（観光産業の誘致） ○環境関連企業を銭函地区に誘致